

創 立 者



①ケート・M・ヤングマン(1841-1910)



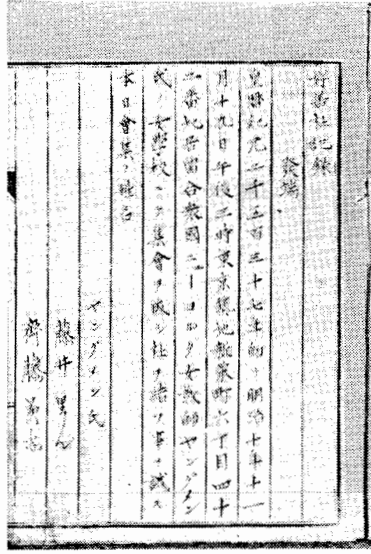
②豊島区の染井墓地にある墓

③ヤングマンと濃尾大地震(明治24年)で親をなくした子供たち

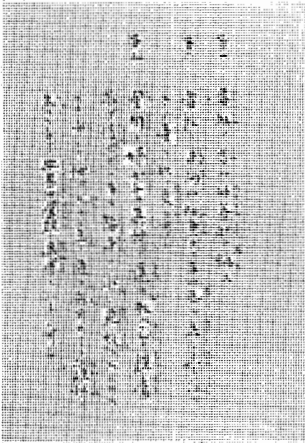


古い記録

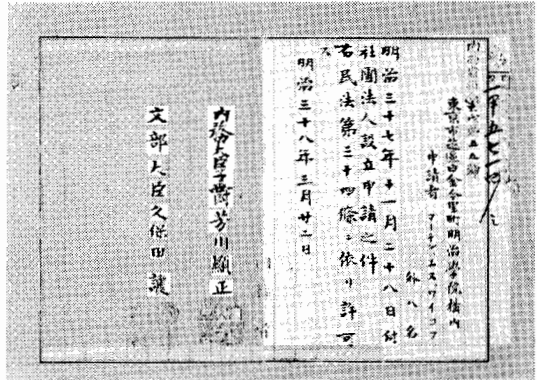
④好善社記録第一ページ



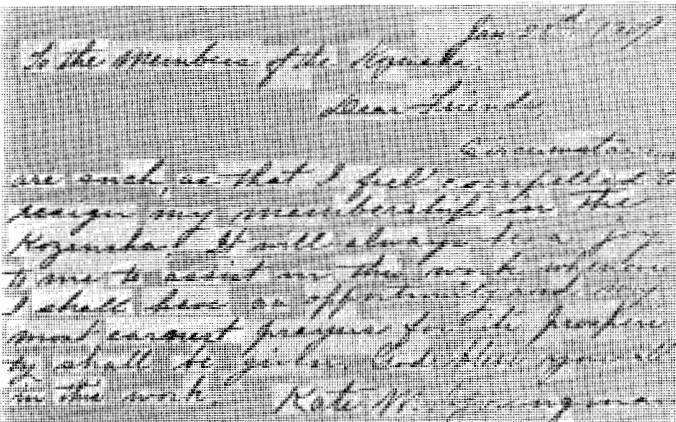
⑤初期の規則



⑥社団法人認可書



⑦ヤングマンの退社届



活躍した人たち



⑩大塚かね



⑨大塚正心



⑧和田秀豊



⑬H・D・ハナフォード



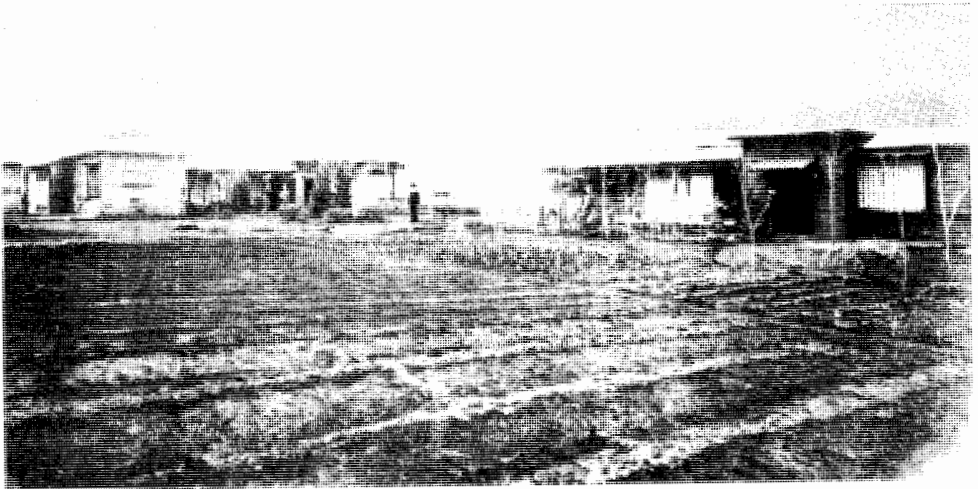
⑫A・オルトマンズ



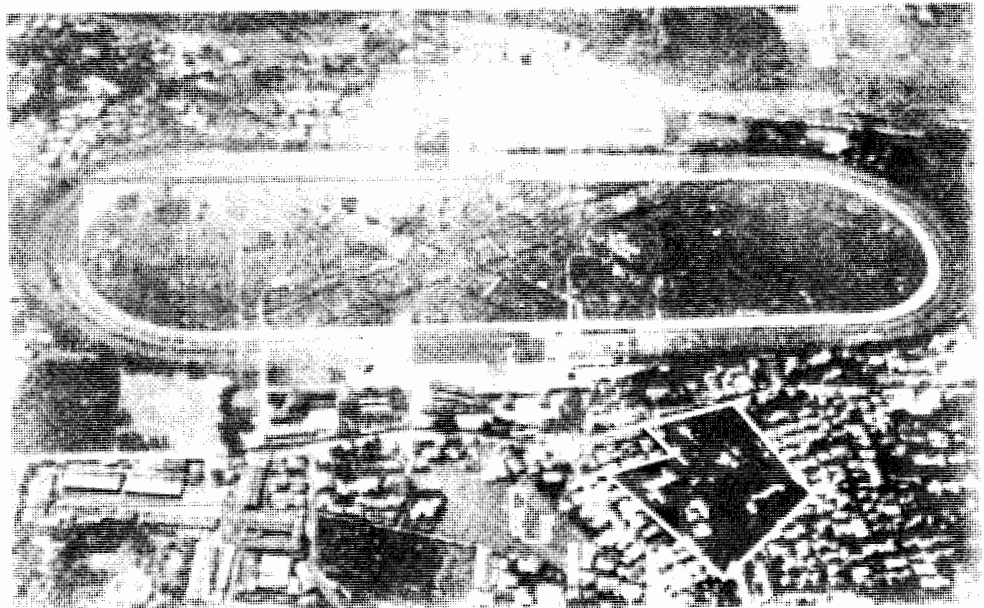
⑪藤原鈎次郎

慰 廢 園 時 代

時 代 の 変 遷



⑭明治27年開園当時



⑮昭和5年ころの東京(目黒)競馬場と慰廢園(閉み線)

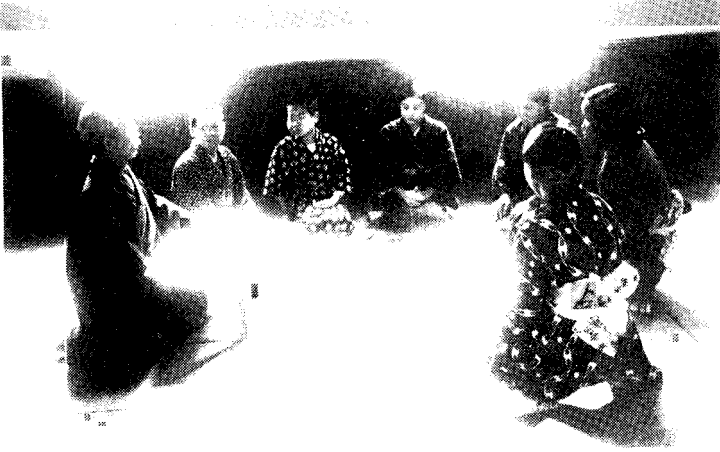


⑯昭和10年ころの慰麻園全景(樹木のある部分)

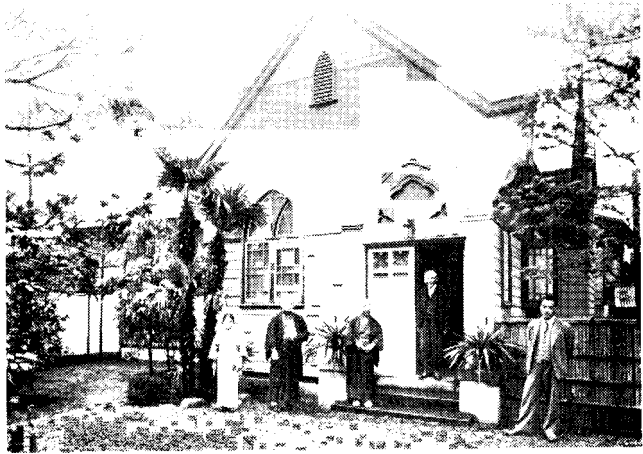


⑰変貌した慰麻園跡(矢印は好善社事務所、昭和53年1月5日)

⑱ 日曜学校(昭和三年)、左端・村上恭次郎



⑲ 礼拝堂(昭和四年献堂)、左から塩谷つね、藤原鉤次郎、大塚かね、和田秀豊、後藤勝海



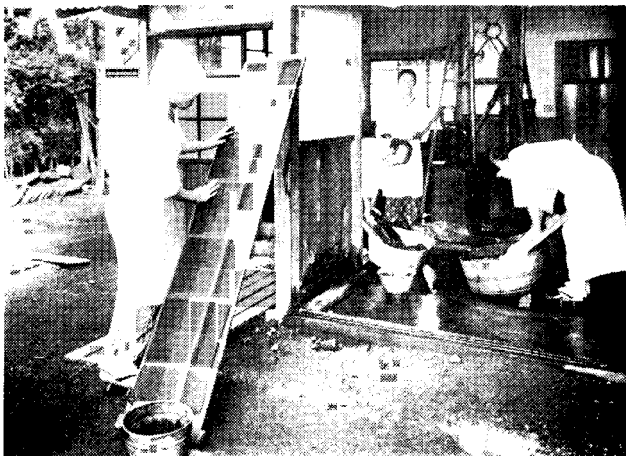
⑳ クリスマス(昭和九年)



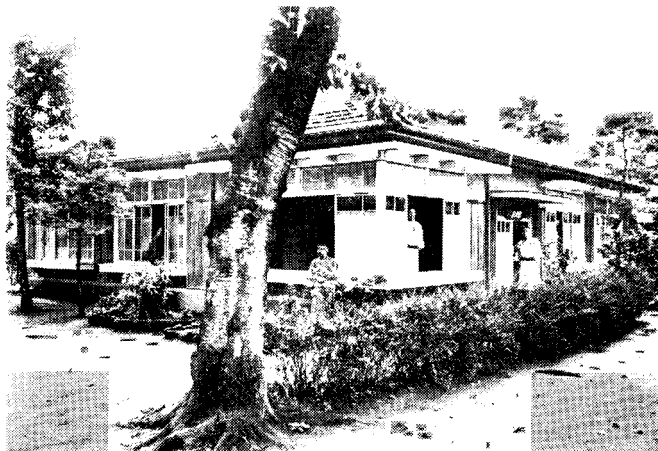


②① 診療室

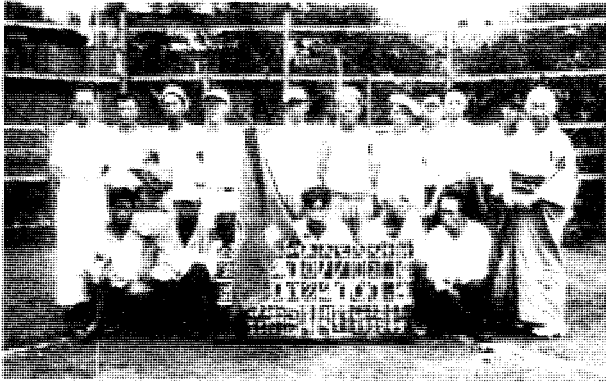
②② 女子病舎静泉寮の洗濯場



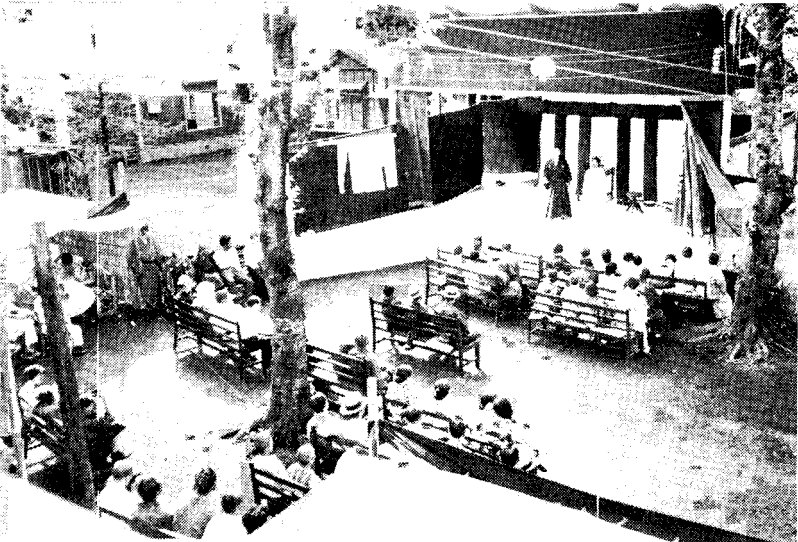
②③ 男子病舎の黎明寮



⑳花見の余興に綱引き、審判はオルトマンズ
(昭和三年)



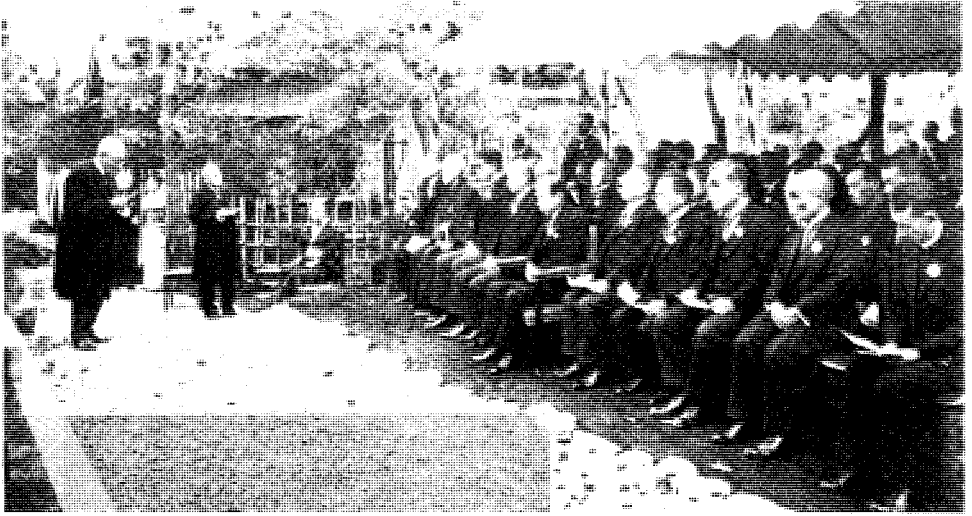
㉕野球チームと大塚かね(昭和七年)



㉖初夏の昼さりの慰問演芸会



⑲ 英国救らい協会アンタールン夫妻(中央)とオルトマンス(左)、大塚かね(右) (昭和十七年三月十六日)



⑳ 貞明皇后御歌碑建立除幕式(昭和十七年十一月十二日)、参列者、前列右から、岩下莊二、網脇龍妙、光田健輔、中條資俊、高野六郎、大谷大夫、藤間大夫、入江、原、林芳信、左から和田秀豊、藤原鈎次郎、大塚かね



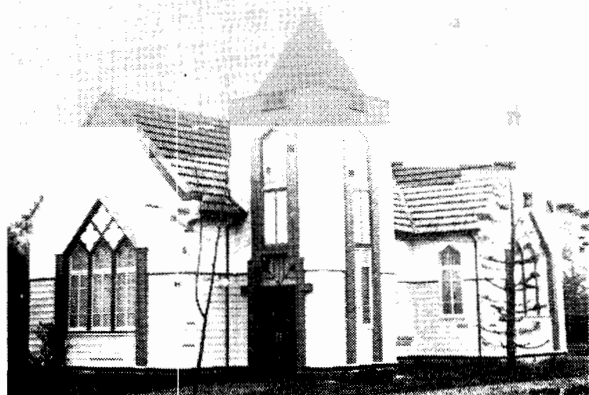
㉑ 昭和十七年三月、米回救らい協会ハセルブラッド会長来日、録音伝道に協力

戦

後

教会堂建設

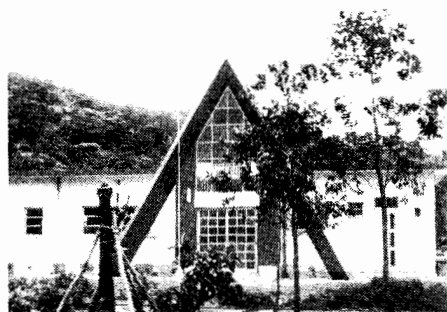
⑩秋津教会(多磨全生園)昭和二十四年献堂



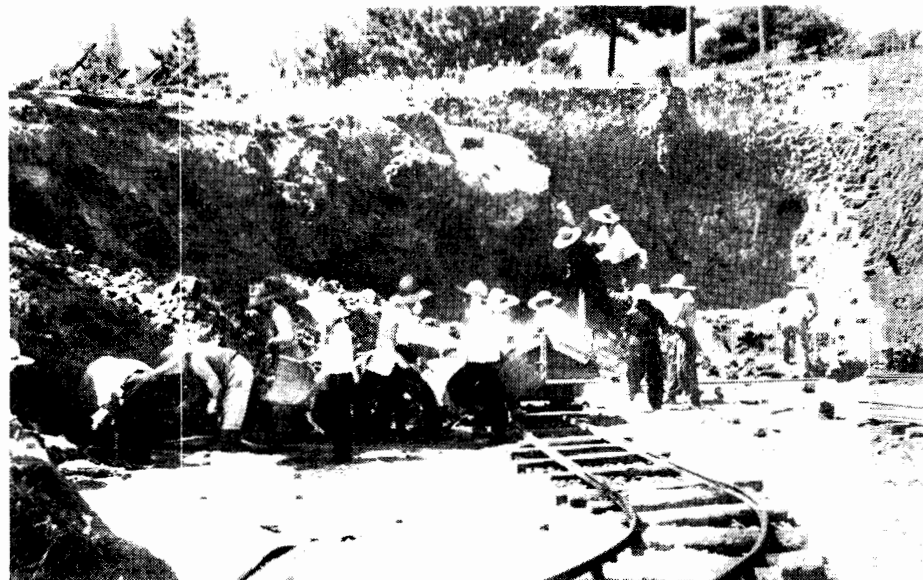
⑪日本新生キリスト教会新生園伝道所(惠北新生園)昭和二十八年献堂



⑫谷川集會(奄美和光園)昭和四十年献堂、現在は日本基督教団名瀬教会和光伝道所



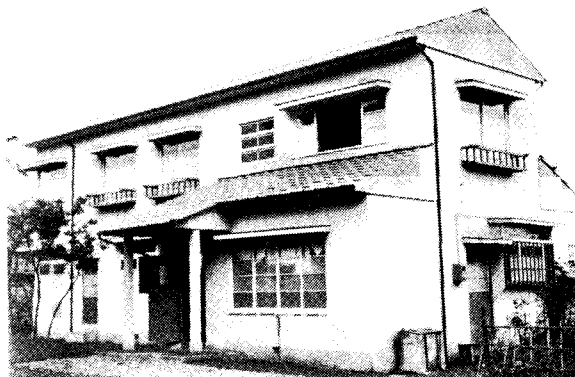
⑬昭和三十四年の夏、日本基督教団光明國家族教会の信徒たちは、崖を切り開いて建設地を造成した





③④ 開所式は昭和二十八年八月二十日に挙行（右・光田健輔、左・井上謙）

③⑤ 外観

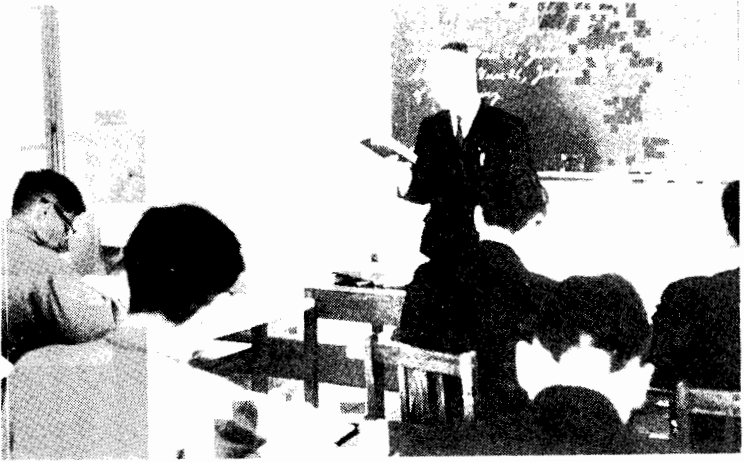


③⑥ バレーをする児童（昭和三十年）

長島聖書学舎



③7 校舎（後は長島曙教会）



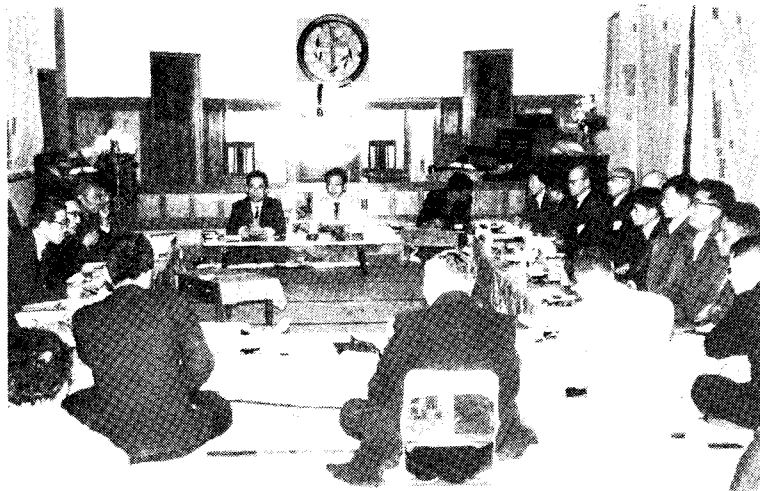
③8 原田校長の英語聖書の授業



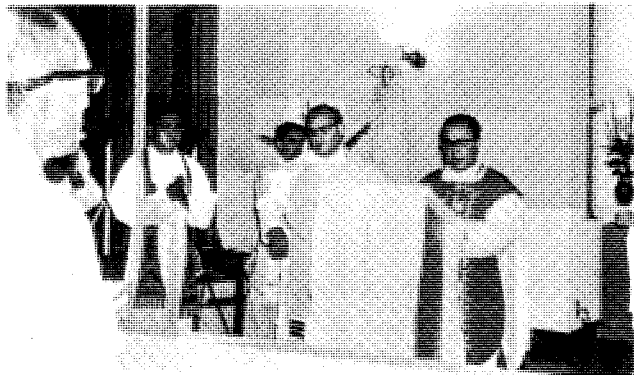
③9 第一期卒業式（昭和三十九年三月二十三日）

会議と講演会

④⑩ 全国ライオン会キリスト教会代表者会議（昭和二十七年十一月二十四—三十日）



④⑪ 全国友朋カトリック教会代表者会議（昭和四十七年六月十二—十六日）、会期中の大意ミサ



④⑫ 「らいを正しく理解する日」にちなんで東京山手教会ホールで開催された啓蒙講演会、講師・神谷美恵子（昭和四十四年六月二十二日）



全国学生社会人キリスト者ワーク・キャンプ



④③ 労働 (昭和三十八年、長島愛生園)



④④ 交流 (昭和四十七年、駿河療養所)



④⑤ 超教派の聖日礼拝 (昭和四十八年、松丘保養園)

沖繩と宮古

④⑥ ジャルマ島をたずねて——かつて青木恵哉が沖繩本島で迫害をうけ、病友と共に難を逃れた屋我地内海にある小島
(左から、渡辺清一郎、藤原偉作、徳田祐弼、箭野清作)



④⑦ 宮古島(矢印のところが宮古南静園)



創立100周年

(昭和52年11月19日)



④ 挨拶、左から、大島孝一、松本馨、大西基四夫、白柳誠一、後藤真、竹森満佐一、小澤貞雄(説教)、藤原偉作、関根文之助、北林巳之助、棟居勇、横田和子(奏楽)、長尾文雄